

セイフティフィラー& セイフティフィラー耐溶剤型

安全性に優れ、様々な壁面下地に対応。一液微弾性中塗材

「セイフティフィラー」・「セイフティフィラー耐溶剤型」は、シーラー、フィラー、パターンが一体化した微弾性フィラーとして、環境に優しいオール水系化が可能な、各種下地に対する優れた密着性、大幅な工期短縮、低汚染性、耐久性、防水性を有した、透湿・多機能型壁面改装システム塗材です。工法バリエーションが多く、改装目的に合った、最適な工法を選定することができます。また、「セイフティフィラー耐溶剤型」は、水性トップコートから溶剤型トップコートまで、それぞれの要求に応じた上塗りの選択が可能です。

●特長

1.工期短縮になります。

シーラー、フィラー、中塗材を1つにしてある為、下地調整から中塗りまで使用でき、大幅な工期短縮になります。

2.ヘアークラックに追従できます。

微弾性のある中塗材で、下地のヘアークラック、巣穴等をうめ、既存塗膜の模様を変えることができます。

3.各種下地に対し、優れた密着性を有しています。

様々な旧塗膜に対し、優れた密着性を持っていますので、塗り替えに最適です。

4.オール水系システムも可能です。

下地調整からトップコート仕上げまでオール水系化が可能なため、安全性に優れています。

5.溶剤型トップコートを使用できます。

下塗りにセイフティフィラー耐溶剤型を使用することにより、上塗りに溶剤型トップコートを使用することができます。

●用途

1.旧塗膜面

吹付タイル、リシン、弾性塗材、単層弾性等 内外壁下地

2.素地面

- ①コンクリート、モルタル、PCa、スレート板等、内外壁下地（カチオン浸透エポプライマー又は、フロンエコブラ速乾、弾性タイルプライマーS、下塗イチパンの塗布が必要です。）
- ②ALC板（セイフティフィラーを水道水で10～15%希釈し、ウールローラーで塗布してください。）

●容量・荷姿・希釈割合

品名	容量・荷姿	塗装方法	水希釈率(%)
セイフティフィラー	18kg石油缶	ウールローラー	3～7
		多孔質ローラー	1～3
		エアレス(プランジャー式)	3～7
		リシンガン	3～7
		タイルガン	0～1
セイフティフィラー耐溶剤型	16kg石油缶	ウールローラー	3～5
		多孔質ローラー	0
		エアレス(プランジャー式)	3～7
		リシンガン	3～7

●主材・上塗材シリーズ

品名	容量・荷姿
ウレタントップ水性(艶有・半艶)(水性)	15kg石油缶
シリコントップII(艶有・半艶)(水性)	4・15kg石油缶
遮熱シリコントップII(艶有)(水性)	4・15kg石油缶
弾性トップ14(艶有)※	5・15kgセット
スーパートップ遮熱(艶有)※	6・15kgセット
ノントップターキ(艶有・半艶)(水性)	16kg石油缶
ノントップターキ玉吹用(艶有・半艶)(水性)	16kg石油缶
ノントップシリコンターキ(艶有・半艶)(水性)	16kg石油缶

※印の製品は、溶剤型トップコートのため、下塗りには、セイフティフィラー耐溶剤型をご使用ください。
(斑状仕上、カット状仕上、弾性塗材にて仕上げる工法で溶剤型トップコートを使用する場合は、セイフティフィラーもご使用になれます。)

《希釈率一覧表》

※スーパートップ遮熱は下記の希釈割合でご使用ください。

色調	希釈率
常備色	0～10%
白・淡彩色	0～10%
中彩色	0～5%
濃彩色	0～5%

(23℃ ローラー施工時)

●改修工法

工法名	セイフティフィラー	セイフティフィラー耐溶剤型
1.旧塗膜のパターンを活かす工法	○	○
2.新しくパターン付けをする工法		
スチップル状仕上	○	○
斑状仕上	○	×
カット状仕上	○	×
3.弾性塗材にて仕上げる工法	○	○

○:工法設定あり ×:工法設定なし

●標準施工仕様

1.旧塗膜のパターンを活かす工法 注1)溶剤型トップコートで仕上げる場合の下塗りには、セフトィファイラー耐溶剤型をご使用ください。

工程	材料名	使用量(kg/m ² /回)	希釈率(%)	塗装方法	塗回数	上塗可能時間(23℃)
素地調整	旧塗膜のふくれ、浮き、劣化部、汚れ等は、サンダー等にて除去し、十分乾燥する。					
下塗り	セフトィファイラー/セフトィファイラー耐溶剤型	0.3~0.7※	3~7/3~5	ウールローラー、リンガン、エアレス(プランジャー式)等	1	4時間以上
上塗り	上塗材は全て共通ですので、下記の上塗りよりお選びください。					

※セフトィファイラー耐溶剤型を標準使用量より少なく塗布すると、ちぢれ等を生じる恐れがありますので、標準使用量を厳守してください。

2.新しくパターン付けをする工法 (ステップル状仕上)

素地調整	旧塗膜のふくれ、浮き、劣化部、汚れ等は、サンダー等にて除去し、十分乾燥する。					
下塗り	セフトィファイラー/セフトィファイラー耐溶剤型	0.8~1.5※	1~3/0	多孔質ローラー	1	4時間以上
上塗り	上塗材は全て共通ですので、下記の上塗りよりお選びください。					

※セフトィファイラー耐溶剤型を標準使用量より少なく塗布すると、ちぢれ等を生じる恐れがありますので、標準使用量を厳守してください。

(斑状仕上)

素地調整	旧塗膜のふくれ、浮き、劣化部、汚れ等は、サンダー等にて除去し、十分乾燥する。						
主材塗り	基層塗り	セフトィファイラー	0.8~1.5	3~7	リンガン、エアレス(プランジャー式)等	1	4時間以上
	模様塗り	セフトィファイラー ※	0.6~1.0	0~3	リンガン、タイルガン等	1	24時間以上
上塗り	上塗材は全て共通ですので、下記の上塗りよりお選びください。						

※カット仕上の場合、模様塗り0~30分後にヘッドカット用ローラーに塗料用シンナーをつけながら押さえてください。

上塗り 1~2の工法の上塗材は下記よりお選びください。

工程	材料名	使用量(kg/m ² /回)	希釈率(%)	塗装方法	塗回数	上塗可能時間(23℃)
上塗り	ウレタントップ水性(艶有・半艶)	0.15	0~10	ローラー、ハケ エアレス等	2	1時間以上
	シリコントップII(艶有・半艶)		10~20			
	遮熱シリコントップII	0.13~0.15	50~60	ローラー、ハケ、エアレス等	2	4~48時間
	弾性トップ14 ※					
スパートップ遮熱 ※	0.15	希釈率一覽表参照	ローラー、ハケ、エアレス等	2	4~48時間	

※印の製品は、溶剤型トップコートの為、旧塗膜のパターンを活かす工法の下塗りには、必ずセフトィファイラー耐溶剤型をご使用ください。

※上記の数値は、すべて標準値です。下地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより多少の幅を生じることがあります。

3.弾性塗材にて仕上げる工法 (単層ローラー仕上)

素地調整	旧塗膜のふくれ、浮き、劣化部、汚れ等は、サンダー等にて除去し、十分乾燥する。						
下塗り	セフトィファイラー/セフトィファイラー耐溶剤型	0.3~0.7	3~7/3~5	ウールローラー、リンガン、エアレス(プランジャー式)等	1	4時間以上	
主材塗り	基層塗り	ノントップ シリコンターキ	0.7~1.0	0~1	多孔質ローラー	1	4時間以上
	模様塗り	ノントップ シリコンターキ	0.15~0.4	0~3	ウールローラー	1	-

※ノントップシリコンターキの他に、ノントップターキもご使用になれます。

(単層斑状仕上)

素地調整	旧塗膜のふくれ、浮き、劣化部、汚れ等は、サンダー等にて除去し、十分乾燥する。						
下塗り	セフトィファイラー/セフトィファイラー耐溶剤型	0.3~0.7	3~7/3~5	ウールローラー、リンガン、エアレス(プランジャー式)等	1	4時間以上	
主材塗り	基層塗り	ノントップ ターキ玉吹用	0.7~1.0	10~15	リンガン等	1	5時間以上
	模様塗り	ノントップ ターキ玉吹用	0.5~0.7	0~3	万能ガン、タイルガン等	1	-

●施工上の注意事項

1.素地調整について

- ①コンクリート、モルタル面は、pH9.5、含水率8%以下になるように20日以上養生し、十分乾燥してください。
- ②旧塗膜の付着不良部、脆弱、風化箇所、表面の油、ゴミ、ホコリ、コケ、エフロレッセンス等は、高圧水洗(14.7~19.6MPa)、サンダー、ワイヤーブラシ等にて取り除いてください。
- ③多孔質下地等の粗面、その他巣穴等下地に問題がある場合は、必ずポリマーセメントモルタルで処理してください。
- ④下地モルタルの浮き部は、エポキシ樹脂を注入し、ピンニングしてください。
標準としてピンニングは、約25穴/m²です。
- ⑤幅0.3mm以上のクラック部はUカットし、フローニングシーリングを充填してください。
- ⑥幅0.3mm以下のクラック、素穴、段差は、セフトィファイラーを充填してください。
- ⑦窓まわり、目地部の既存シーリングは撤去し、フローニングシーリングにて打ち直し、施工してください。
- ⑧爆裂して内部の鉄部が露出している箇所はケレンし、防錆処理後、ポリマーセメントモルタルにて表面を処理してください。
- ⑨サッシまわりの欠損部は、ポリマーセメントモルタルで表面を平滑にしてから、フローニングシーリングにて処理してください。
- ⑩シーリング材の上に本材を塗布する場合、使用するシーリング材は、1液ウレタンノンブリードタイプ(フローニングシーリング)、2液ウレタン系が良好です。

■警告表示

- 1.容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後処理してください。
- 2.取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 3.目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 4.誤って飲みこんだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 5.よくフタをし、一定の場所を定めて貯蔵してください。
- 6.子供の手の届かないところに保管してください。
- 7.破棄する時は、産業廃棄物として処理してください。

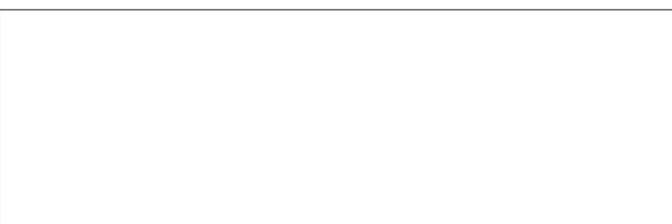
2.その他

- ①下地の状態により、シーラーが必要な場合がありますので、予めご相談ください。
新設の場合、必ずカチオン浸透エポプライマー又は、フロンエコプラ速乾、弾性タイルプライマーS、下塗りチタンを塗布してください。
- ②弾性系スタッコ面の使用は、塗膜ふくれの原因となりますので避けてください。
- ③溶剤型トップコートをご使用になる場合は、セフトィファイラー耐溶剤型をご使用してください。また、ちぢれ等を防ぐ為にも使用量は厳守してください。
- ④旧塗膜が溶剤型フッ素、シリコン系塗膜の場合、本体を施工しないでください。
旧塗膜が溶剤型ウレタン系塗膜の場合、エクセルプライマーをご使用ください。
- ⑤強風(風速5m/秒以上)の場合は、飛散及び模様様に支障をきたしますので、施工を避けてください。
- ⑥降雨、降雪下、気温5℃以下、湿度85%以上の場合は、ワレ、ハガシ、流れの原因になりますので、施工を避けてください。
- ⑦塗装時及び塗料の取扱い時は、換気を十分に行なって作業してください。
- ⑧施工は目地などの見切りまで連続して行ってください。
- ⑨材料の有効期限は、製造後6ヶ月です。
- ⑩動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を十分に行ってください。

△ご注意

取り扱い上の注意については、容器に表示された注意事項をご参照ください。
詳細内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

●お問い合わせは……



東日本塗料株式会社



本社 東京 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場 埼玉 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 札幌営業所 北海道 札幌市東区南穂町9-4-6 TEL.011(743)5271(代) FAX.011(743)5273
 仙台営業所 宮城 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
 新潟営業所 新潟 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所 静岡 静岡県駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。
 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。

URL <http://www.hnt-net.co.jp>

CATALOG NO.1 '13.03.1000